

優先給電ルールに基づく出力抑制指令の必要性（需給状況）

当社は、電力の安定供給確保の観点から、調整電源抑制などの回避措置を行ったとしても、電気の供給量が、その需要量等を上回ることが見込まれたことから、供給力余剰を満たす発電事業者さまに対して、出力抑制の指令を行いました。

2025年度実績

【8月16日更新】

[単位：万kW]

出力抑制指令内容	発 信 日		08/01 (金)	08/02 (土)	08/12 (火)	08/13 (水)	08/14 (木)							
	出力抑制日 ^(注1)		08/02 (土)	08/03 (日)	08/13 (水)	08/14 (木)	08/15 (金)							
予想需給状況	需要相当	九州エリア内の需要 ①	1,185.0	1,120.0	1,106.3	1,124.3	1,140.4							
		揚水動力運転 大容量蓄電池の充電 ^(注2) ②	198.5	198.6	257.2	257.2	257.2							
		関門連系線を活用した 九州エリア外への送電 ③	237.3	214.8	136.5	142.8	156.5							
		計 ④＝①＋②＋③	1,620.8	1,533.4	1,500.0	1,524.3	1,554.1							
	供給力合計 ^(注3) ⑤		1,657.4	1,609.0	1,649.2	1,540.9	1,584.5							
		(再掲)再エネ想定出力	(990.6)	(950.9)	(932.2)	(838.8)	(905.6)							
	供給力余剰 ⑥＝⑤－④		36.6	75.6	149.2	16.6	30.4							

(注) 最大余剰電力発生時刻におけるバランスを掲載

(注1) 全抑制日を記載しておりますので各事業者さまにおかれましては当該指令日のデータを参照願います。また、出力抑制時間・出力指令値については、指令メールで確認下さい

(注2) 揚水発電所、大容量蓄電池を最大限活用

(注3) 優先給電ルールに基づき調整電源を最大限抑制